2026 年 11 月 24 日
会社名　株式会社グリッド
（証券コード：5582　東証グロース）

【インフラアセット事業】宮崎県日南市の系統用蓄電所が竣工、エー・ディー・ワークスへ引き渡し

～当社初の蓄電所開発案件が竣工・引き渡しに至り、インフラアセット事業が実績化～

株式会社グリッド（本社：東京都港区、代表取締役社長：曽我部 完、以下「当社」）は、株式会社エー・ディー・ワークス（代表取締役社長：鈴木俊也、本社：東京都千代田区、以下「ADW」）から開発を受託した宮崎県日南市の高圧連系の系統用蓄電所が竣工し、ADW への引き渡しを完了しましたので、お知らせいたします。本件は、当社が 2026 年 6 月 24 日付「大口受注（約 16 億円の蓄電所開発）に関するお知らせ」にて開示した案件の 1 つであり、当社が開発を手がけた系統用蓄電所として初めて竣工・引き渡しに至った案件です。本件の詳細につきましては添付のリリースをご参照ください。

本リリースのポイント（成長戦略上の意義）

◆ 当社初の竣工・引き渡しにより、インフラアセット事業が実績化

土地選定、系統接続申請から竣工・引き渡しまでを一貫して完遂しました。2026 年 9 月 29 日に公表した「事業計画及び成長可能性に関する事項」では、開発の実績と経験の積み上げをインフラアセット事業の課題として挙げており、本件はその第一歩となるものです。高圧案件で得た実績と知見を、特別高圧案件への規模拡大につなげてまいります。

◆ AI 事業で培った電力分野の知見を設備開発に展開

当社は AI 事業を通じて、電力会社の需給計画や系統運用など電力分野の業務知見を蓄積してきました。本件はその知見をインフラ設備の開発に生かす取り組みであり、AI事業とインフラアセット事業を成長の両輪とする当社の事業ポートフォリオの拡大に資するものです。

◆ 事業パートナーとの継続的な連携

ADW は系統用蓄電所事業を中長期的な成長事業と位置づけ、開発用地の取得を進めています。ADW と当社は本件を通じて得られた知見を共有し、系統用蓄電所の開発における更なる連携の

可能性を検討してまいります。本件で積み上げた実績を、今後の案件獲得と開発の拡大につなげてまいります。

本件の社会的意義

再生可能エネルギーの導入拡大やデータセンター等の電力需要増加に伴い、電力の需給バランスを保つ「調整力」としての系統用蓄電所の重要性が高まっています。系統用蓄電所は、余剰電力を蓄えて有効に活用するとともに、必要なときに電力を供給することで、再生可能エネルギーの導入拡大と電力の安定供給の両立を支える役割が期待されています。本蓄電所は電力市場での取引などを通じて需給調整に活用され、地域の暮らしや産業を支える電力インフラの一翼を担います。当社は系統用蓄電所の開発を通じて、カーボンニュートラルの実現と持続可能な電力インフラの構築に貢献してまいります。



（添付）

2026 年 11 月 24 日

グリッド、宮崎県日南市の系統用蓄電所が竣工

株式会社グリッド

株式会社グリッド（代表取締役社長：曽我部完、本社：東京都港区、以下「グリッド」）は、宮崎県日南市において、株式会社エー・ディー・ワークス（代表取締役社長：鈴木俊也、本社：東京都千代田区、以下「ADW」）がグリッドに開発を委託した高圧連系の系統用蓄電所が竣工し、ADW への引き渡しが完了したことをお知らせいたします。

本蓄電所は、宮崎県日南市に設置した高圧連系の系統用蓄電所です。電力系統からの電力を蓄え、必要な時間帯に放電することで、電力の需給バランスの調整に活用されます。

再生可能エネルギーの導入拡大やデータセンター等の電力需要増加に伴い、電力の需給バランスを保つ「調整力」の重要性が高まっています。系統用蓄電所には、余剰電力を蓄えて有効に活用するとともに、必要なときに電力を供給することで、再生可能エネルギーの導入拡大と安定供給の両立を支える役割が期待されています。

本蓄電所は、こうした社会的なニーズに応えるために整備したものです。両社は、本蓄電所が電力市場での取引などを通じて需給調整に活用され、暮らしや産業を支える電力インフラの一翼を担うことを期待しています。

両社は、本件を通じて得られた知見を共有し、系統用蓄電所の開発における更なる連携の可能性を検討してまいります。



■株式会社エー・ディー・ワークス
インフラアセット事業部　部長　岩田隆志氏のコメント

当社は、社会課題解決への貢献と新たな事業ポートフォリオ拡大を目的として 2025 年 1 月から系統用蓄電所事業を開始いたしました。今回、当社第 3 号案件として本蓄電所が稼働開始したことを大変嬉しく思います。系統用蓄電所事業は、当社の成長に寄与するだけでなく、日本の電力システムの安定化に資する意義深い事業であります。この事業を信頼できるパートナーである株式会社グリッド様と進めていけることは当社として大変心強く、今後も事業拡大に向けて様々な形で協業させていただきたいと考えております。

■ 株式会社グリッド 取締役執行役員　中村 秀樹のコメント

このたび、ADW 様より開発をお任せいただいた日南市の系統用蓄電所を、無事にお引き渡しできたことを大変うれしく思います。ADW 様をはじめ、本件に携わってくださった関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。当社にとって系統用蓄電所事業は、電力・社会インフラ分野で培った業務知見や AI を活用した系統用蓄電所需給管理システム開発の経験を活かした取り組みになります。今回の経験を今後のインフラアセット開発につなげ、地域の暮らしや産業を支えるインフラづくりに貢献してまいります。